

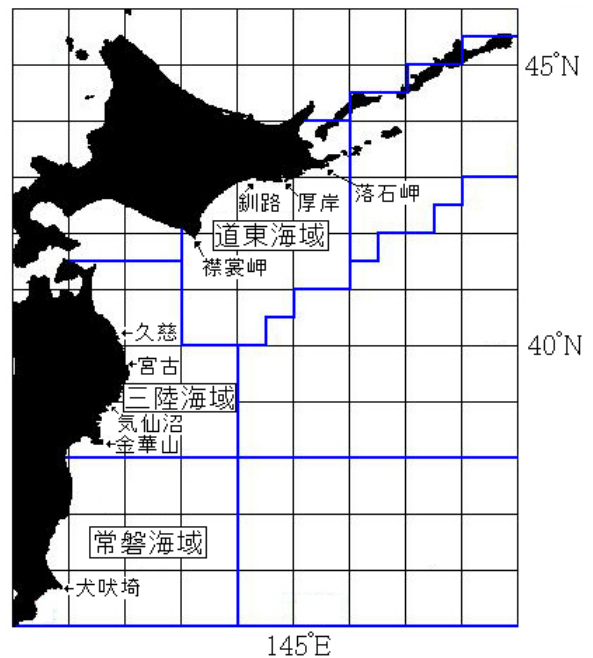
## 平成25年度 第6回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2013年11月上旬～12月中旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、11月上旬に終漁となる。
- ・三陸海域では、来遊量は11月中旬まで増加するが、11月下旬から減少する。
- ・常磐海域では、11月上旬は低位水準であるが、11月中旬～12月上旬は中位水準となる。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 事業二課

担当：渡邊、松尾

電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881

当資料のホームページ掲載先URL

<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

独立行政法人水産総合研究センター

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

# 平成25年度 第6回 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

## 1. 今後の見通し

予測期間：2013年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

### 1) 道東海域

#### (1) 来遊量

来遊量は減少し、11月上旬は断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

11月上旬は、釧路沖と襟裳岬沖に漁場が残る。

### 2) 三陸海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、11月上旬は低位水準、11月中旬は中位水準となる。11月下旬から来遊量は減少し、12月上旬は断続的となり、終漁となる。

#### (2) 漁場

11月上旬は三陸北部～南部が、11月中旬～12月上旬は三陸南部が漁場となる。

### 3) 常磐海域

#### (1) 来遊量

来遊量は増加し、11月上旬は低位水準、11月中旬～12月上旬は中位水準となる。12月中旬から来遊量は減少し、低位水準となる。

#### (2) 漁場

11月上旬～12月上旬は、常磐北部～南部が漁場となる。12月中旬は、常磐北部の漁場が消滅し、常磐南部が漁場となる。

## 2. 予測の概要

| 海 域  |     | 11月上旬       | 11月中旬 | 11月下旬 | 12月上旬 | 12月中旬 |
|------|-----|-------------|-------|-------|-------|-------|
| 道東海域 | 来遊量 | — →         |       |       |       |       |
|      | 動向  | 断続的         |       |       |       |       |
|      | 漁 場 | 釧路沖<br>襟裳岬沖 |       |       |       |       |
| 三陸海域 | 来遊量 | →           | →     | ↘     | — →   |       |
|      | 動向  | 低位増加        | 中位水準  | 低位減少  | 断続的   |       |
|      | 漁 場 | 北部～南部       | 南部    | 南部    | 南部    |       |
| 常磐海域 | 来遊量 | →           | →     | →     | →     | ↘     |
|      | 動向  | 低位増加        | 中位増加  | 中位水準  | 中位水準  | 低位減少  |
|      | 漁 場 | 北部～南部       | 北部～南部 | 北部～南部 | 北部～南部 | 南部    |

### 3. 漁況の経過概要（10月中旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前旬を上回ったものの、前年を下回り、低位水準であった。道東海域よりも東～南南東側の落石東～南南東沖における来遊量の水準は、前旬を下回ったが、前年を上回った。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、来遊量は期前半に増加し、その後やや減少したが、期後半に再び増加した。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石南東～釧路南西沖と、襟裳岬南沖に漁場が形成された。落石南東20海里～釧路南西40海里付近（8～14℃）で、小型船の多くと大型船が操業。大型船で最高110トン、平均66トン漁獲。小型船は多くの船が満船となった。襟裳岬南75海里付近（17℃）では、19日夜に大型船が7隻程度操業し、最高50トン弱、平均34トン漁獲した。なお道東海域よりも東側の落石東沖（8～11℃）では、14日夜以降、小型船と大型船が数隻操業したが、漁獲量は少なかった。また道東海域より南南東側の落石南南東130～170海里付近（11～13℃）では、大型船が操業し、最高115トン、平均56トン漁獲した。

##### (3) 魚体

落石東沖、落石南東20海里～釧路南西40海里、襟裳岬南沖では、体長25～27cmモードの中型魚主体であった。落石南南東沖では、体長30～31cmモードの大型魚主体であった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

来遊量は少なかった。

##### (2) 漁場

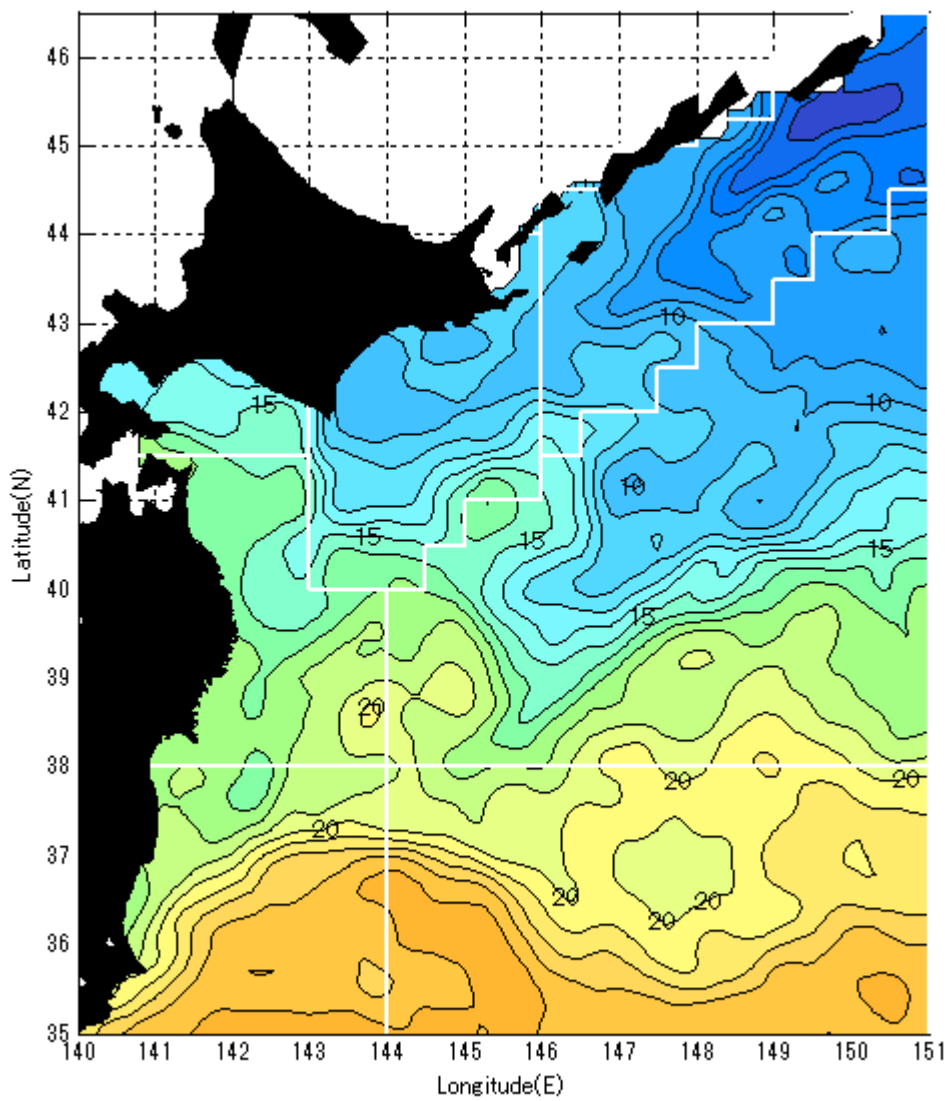
三陸海域では、漁場は形成されなかった。なお三陸海域より東側の久慈東170海里～釜石東180海里付近（13～16℃）では、17日夜と19日夜に、大型船が10隻前後操業し、最高118トン、平均61トン漁獲した。

##### (3) 魚体

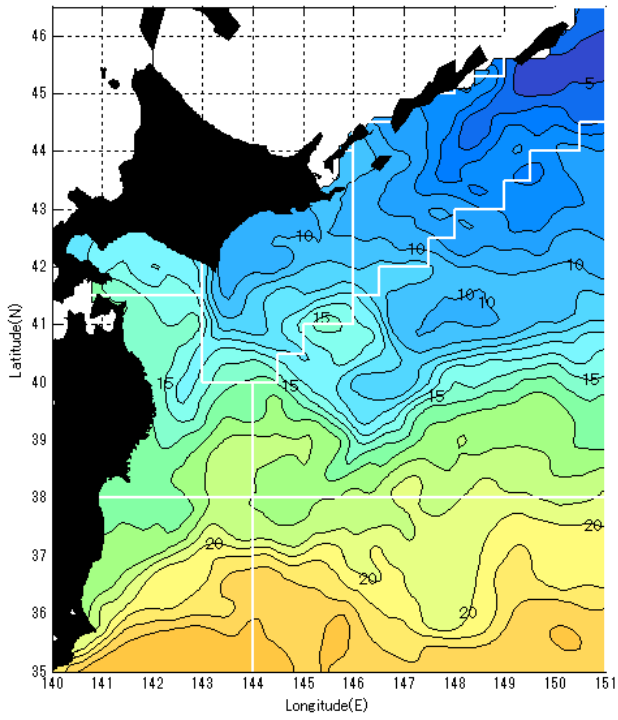
三陸海域よりも東側の、久慈東170海里～釜石東180海里付近では、体長30～31cmモードの大型魚主体であった。

#### 4. 予測水温分布図

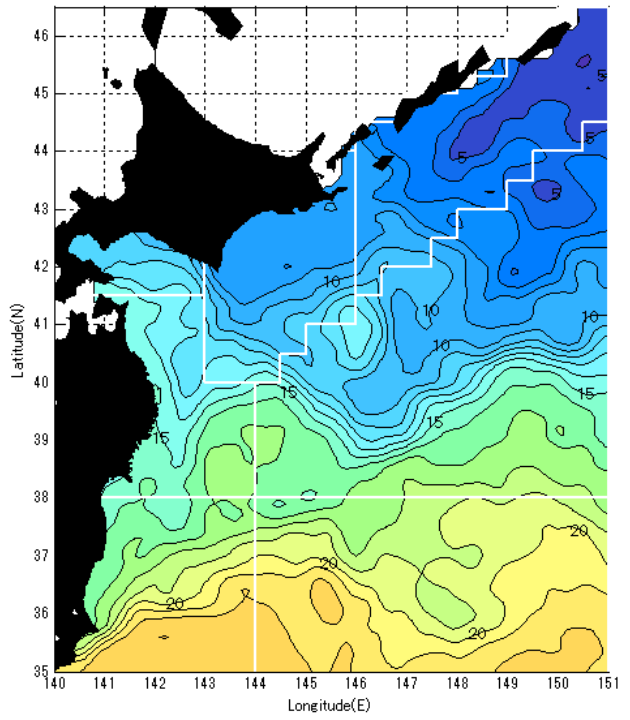
11月上旬予測表面水温分布図



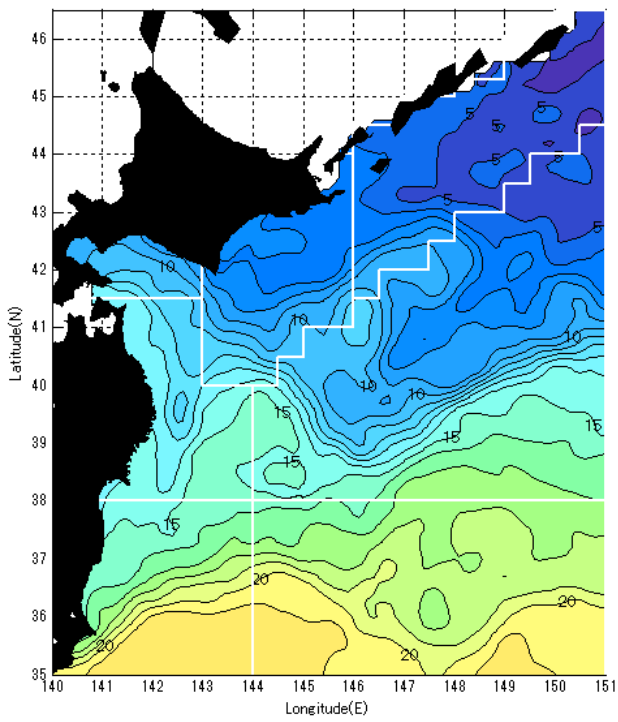
11月中旬予測表面水温分布図



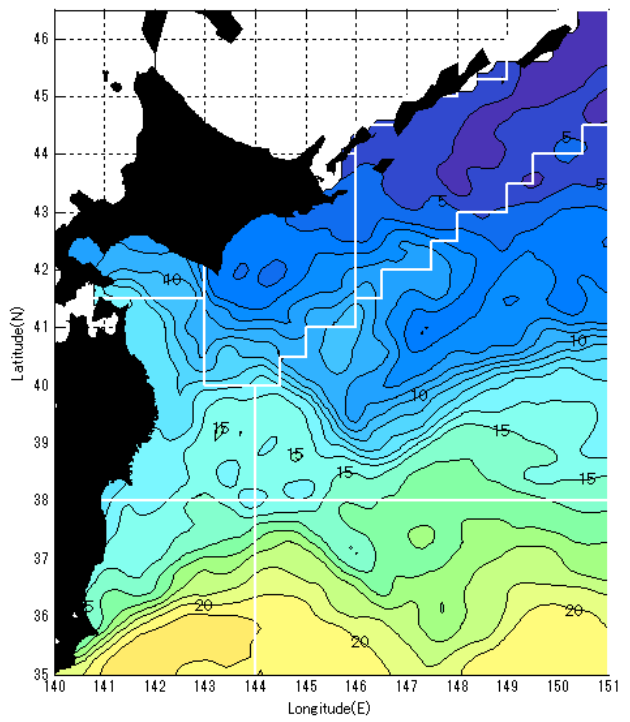
11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



## 参 画 機 関

|   |   |
|---|---|
| <p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構<br/>水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産試験場</p> | <p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>独立行政法人 水産総合研究センター<br/>東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関)<br/>一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p> |
|---|---|